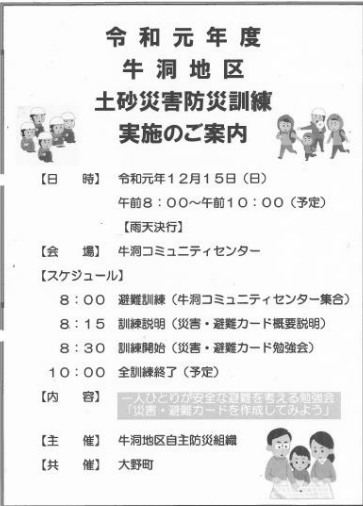


## 1人ひとりが避難の手順を決めるプロジェクト 事例集

【市町村名、地区名】大野町牛洞地区	
【名称】牛洞地区土砂災害防災訓練	
【日時】令和元年12月15日(日) 8:00~10:00(2時間)	
【場所】牛洞地区センター	
【対象者】牛洞地区の住民	【人数】64名
<p><b>【取組みのきっかけ】</b></p> <p>町の北部山沿いには、土石流危険渓流及び急傾斜地崩壊危険箇所が点在しており、特に牛洞地区は土石流危険区域が集中している区域である。地区の一次避難場所である集会所も土砂災害警戒区域に立地しており、「どこに避難すれば良いか」住民の方が避難のための安全な場所が分かりにくいという実態があった。</p> <p>住民が集まる機会を作るため、地区の土砂災害防災訓練での勉強会として機会を作成した。</p>	
<p><b>【実施までの運び】</b></p> <p>○主催者 牛洞地区自治会</p> <p>○活用した機会 地区の土砂災害避難訓練の際に、避難所となる公民館に避難してきた住民を対象に取組みを実施した。</p> <p>○周知・案内 ①事前に地区役員会で説明(2回) ②該当の地域にお住まいの方へ、町から開催に係る案内文書を全戸配布して参加を呼び掛けた。(1か月前)</p> <p>○事前準備 会場準備:説明用パワーポイント、ボールペン(人数分)、大野町ハザードマップ(A0版) 配布資料:次第、大野町ハザードマップ、 災害・避難カード(A3版)、 ※災害・避難カードは県様式をもとに大野町にてアレンジして作成。</p> <p>○当日のスタッフ 7名(町職員5名、県防災課2名)</p> <p>○その他 ワークショップ開始前に、風水害を想定した避難訓練を実施し、会場に参集。</p>	



【取組みの状況】

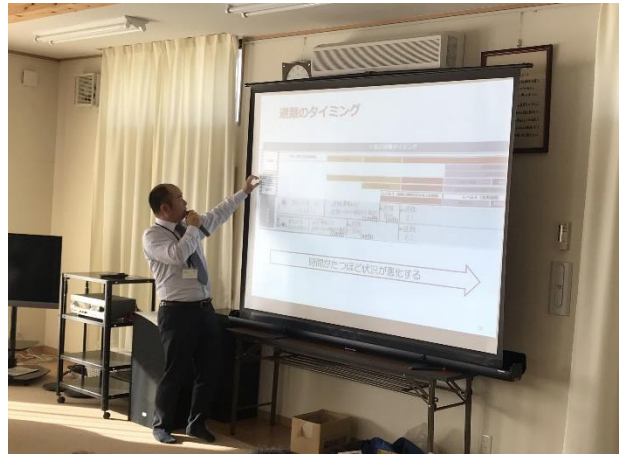
○避難訓練の様子



○防災の講話（講師：大野町総務課）



○災害・避難カードを作成するワークショップ（講師：岐阜県防災課）





○完成した災害・避難カード

④私の避難タイミング				
気象情報	大雨に関する気象情報	注意報	警報	大雨特別警報
避難の危険度分布		注意	警戒	非常に危険 極めて危険
水位情報		氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報(避難判断参考水位)
避難情報		レベル3 (避難に時間がかかる人は避難)	レベル4 (全員避難)	レベル5
		避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)
3時~18時	☀️ 晴れ ☁️ 曇り 🌧️ 雨 🌫️ 霧 🌬️ 風	関心を払う	避難開始	避難完了
18時~	🌙 夜間 ☁️ 曇り 🌧️ 雨 🌫️ 霧 🌬️ 風	関心を払う	避難開始	避難完了

①誰(気にかける人)と避難する?	③避難に必要な時間は?	私のまちの危険情報を知るには?															
<table border="1"> <tr> <th>誰と?</th> <th>連絡先?</th> </tr> <tr> <td>(男) [ ] (女) [ ] (女) [ ]</td> <td>[ ] [ ] [ ]</td> </tr> </table>	誰と?	連絡先?	(男) [ ] (女) [ ] (女) [ ]	[ ] [ ] [ ]	<p>A 安全な場所は?</p> <p>西小学校 第4公民館</p> <p>B 安全な場所まで片道何分(通常時)?</p> <p>徒歩なら 15分 / 車なら 5分</p> <p>C 安全な場所まで片道何分(豪雨時)?</p> <p>徒歩なら 40分 / 車なら 使用不可</p> <p>D 避難を判断してから家を出るまでに何分? 20分</p> <p>E 要支援者を支援するのに何分? 50分</p> <p>F 避難を判断してから安全な場所まで何分?</p> <p>徒歩なら 85分 / 車なら 75分 / 豪雨時なら 110分</p>	<p>岐阜地方気象台</p> <p>気象情報 (注意報・警報等)を知るには?</p> <p>岐阜、気象台 防災 ⇒ 岐阜地方気象台 HP</p> <p>情報の危険度分布</p> <p>洪水や土砂災害等の危険度の高まりを知るには?</p> <p>岐阜、気象台 防災 ⇒ 岐阜地方気象台 HP</p> <p>水位情報</p> <p>揖斐川、根尾川の水位を知るには?</p> <p>川の水位情報 防災 ⇒ ①岐阜県川の防災情報 HP</p> <p>避難情報</p> <p>大野町の避難情報を知るには?</p> <p>大野町役場 防災 ⇒ ①大野町 HP ②大野町メール配信サービス</p> <p>【大野町メール配信サービス】</p> <p>避難情報などをお知らせしています。</p> <p>QRコードを読み込み、メールを作成。空メールを返信する又は「@nominagata@nominagata.jp」に返信メールを送信すると避難メールが配信されます。返信されたメールアドレス宛に配信リンク先から登録できます。</p>											
誰と?	連絡先?																
(男) [ ] (女) [ ] (女) [ ]	[ ] [ ] [ ]																
<p>②何を持って避難する?</p> <table border="1"> <tr> <th>何を?</th> <th>大きさは?</th> <th>重さは?</th> </tr> <tr> <td>非常持ち出し袋 ×2</td> <td>4520/207</td> <td>20kg</td> </tr> <tr> <td>貴重品 (財布、通帳、携帯電話)</td> <td>2020/207</td> <td>10kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10710/710</td> <td>1kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(合計) 31kg</td> </tr> </table> <p>自分が持ち出す物、その保管場所は?</p>	何を?	大きさは?	重さは?	非常持ち出し袋 ×2	4520/207	20kg	貴重品 (財布、通帳、携帯電話)	2020/207	10kg		10710/710	1kg			(合計) 31kg		
何を?	大きさは?	重さは?															
非常持ち出し袋 ×2	4520/207	20kg															
貴重品 (財布、通帳、携帯電話)	2020/207	10kg															
	10710/710	1kg															
		(合計) 31kg															

作成：令和元年度「災害・避難カード作成事業」/大野町総務課

【今後の展開】

今回は土砂災害が特に懸念される地区にて行った。このノウハウを基に、次回は特に内水氾濫の恐れがある地区での実施を計画。